

## 南会津版作品集の発行にあたって

福島県教育委員会では、子供たちの豊かな心を育成するため、平成十四年度から「十七字のふれあい事業」を実施しております。本年度で節目の二十年目となりました。

この事業は、家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現することを通して、子供の豊かな心を育成するとともに、人と人の「絆」を深め、ひいては家庭や地域の教育力の向上に資するという趣旨で行っているものです。

今年度は、県全体で四二九五三点、南会津からは一四一五点の応募があり、共通体験を通して温かい心の交流を感じ取ることができる作品や、ふるさとへの思いを感じる作品などが数多く見られました。また最近では親子にこだわらないペアの作品も増えており、視点の広がりを感じます。

作品と一緒に添えられている御意見と御感想には、

「色々と制約のある日常にあって、日々の出来事や親子の時間を振り返りたいへん貴重な事業です。毎年楽しみにしております。」(中二・父)

「夏休みといたら十七字ですよね。考えるのも、皆さんの作品を見るのも楽しみです。」(中三・姉)

「絆・ふれあい・家族愛は生きる上で大切にしたいものです。」(小五・祖母)

など、本事業が多くの方々に御理解をいただき、お陰様で長年続いていることを感じております。

さて、南会津教育事務所では、県入賞を含めた第一次選考作品の七十二作品と、皆さんに読んでいただきたいスマイル賞八十五作品を掲載した作品集を発行いたしました。

この作品集に掲載された作品から、子供たちの思いや願いそして子供たちを支え見守ってくださっている方々の思いを感じ取っていただければ幸いです。

改めまして、毎年御協力をいただいております各学校、関係機関並びに作品を応募された皆様方に心より感謝申し上げます。刊行の挨拶といたします。

令和三年十二月

福島県教育庁南会津教育事務所長 西牧 泰彦